

チーム身延中

令和6年度 身延中 学校だより
発行者: 校長 渡邊 史

NO.9 令和7年2月5日

令和7年となり、早いもので3学期も一ヶ月が経過しました。3学期の始業式では、空の月を見るとすぐにその満ち欠けや運動を考えてしまう自分自身の経験から、「同じものを見たり聞いたりしても、その人によって受け取り方が違う。それは人によってものの見方や見る角度が違うから。」なんてお話をしました。そして、「色々な視点を持ち、事実をしっかりと捉えてると共に、物事を『プラスの面』で見ることで捉えることを心がけてもらいたい。」とお伝えしました。慌ただしい毎日の中で、壁にぶつかったり悩みを感じたりしたときは、一人で苦しまず、先生方やお家の方々、先輩や友達のアドバイスも聞いてもらいたいと思います。そういった人たちからの言葉はきっと「視点を変える」ことに繋がり、気持ちが楽になることも多いと思います。玄関には3年生が作成した「卒業まで〇日」のカウントダウンが掲示されています。進学・進級に向け、充実した日々になることを願っています。



席書き大会

1月10日(金)・14日(火)には席書き大会が行われました。「書きぞめ」は、昔から新年1月2日に若水(元日の朝早く汲む水)で墨を摺り、恵方(その年の吉とされる方向)に向かって詩歌を書く習慣が、江戸時代以降に庶民にも広まったものです。そして年中行事のひとつとして一年の抱負や計画、おめでたい言葉をしたため、目標成就や新年をお祝いする意味が込められています。今年は1年生が「初夢」、2年生が「春の雲海」、3年生が「天地清新」を課題に取り組みました。集中して取り組んだ後は、きっと気持ちも引き締め、一年の決意に繋がったのではないのでしょうか。



令和7年度入学生一日入学

1月31日(金)には、来年度の入学生・保護者の皆様を対象に「一日入学」が行われました。現小学6年生にとって、中学校への入学はこれまでにない「大きな環境の変化」です。そして、その先にある中学校生活は、身体も心も大きく成長して大人に近づく3年間です。身延中学校では入学生を全力で支えること、入学生自身にも身延中学校をさらにレベルアップさせる力になってほしいと伝えました。

一日入学では、中学校生活のあらましについて説明し、学習や学校生活のきまり、通学方法等について理解してもらいました。その後、児童は生徒会執行部による「授業見学」と「学校生活の説明」へ、保護者は「PTA役員選出」を行いました。生徒会執行部の皆さんは、パワーポイントで身延中の生活を分かりやすく説明したり、クイズを行ったりして新入生を楽しませていました。各部の部長からはそれぞれの部活動についての説明があり、部活動に対する思いや活動内容がよく分かりました。新入生の皆さんも、きっと身延中学校への入学が楽しみになったことと思います。



SNSから読書へのシフト

身延中学校では年に2回の学校評価（保護者アンケート・生徒アンケート・職員アンケート）を行っています。

これらは、「子どもたちがより良い教育を享受できるように、教育活動等の成果を検証し、学校運営の改善と発展を目指す」ための取り組みとして行われるものです。今年度も1・2学期末にご協力いただき、これまでの教育活動を振り返ったり、今後の方向性を定める際の参考にしてきました。1学期末のアンケート結果からは、それ以降の努力点を策定して取り組んできましたが、さらに2学期末に実施した結果を考察し、「3学期・来年度に向けた重点」を次のようにまとめたところです。（アンケート結果の考察については、別資料でお知らせいたします。）またこの内容は先日の学校評議員会にも提示し、学校評議員の皆様からもご意見をいただいたところです。

- | | |
|------------------|-------------------------|
| (1)「家庭学習の定着」の充実 | (2) SNSから読書へのシフト |
| (3)「道徳」の計画的な授業実践 | (4) 思考力・判断力・表現力を高める授業実践 |

今回は、その中の一つ「(2) SNSから読書へのシフト」について話題提供し、今後、保護者の皆様とも一緒に考えていきたいと思ひます。この内容を「今後の重点」に定めたのは、昨年度からの「読書活動」に関するアンケート結果について、下のように「生徒」と「保護者」の結果とその推移に大きな差が見られるからです。

生徒アンケート

「学校での読書の取り組みによって、積極的に読書をするようになったと思いますか。」

生徒アンケート	評定	評価値	肯定率	前年比
R4年度7月	B	3.25	77	
R5年度7月	B	3.24	82	+5
12月	B	3.35	81	
R6年度7月	A	3.46	86	+4
12月	B	3.38	86	+5

保護者アンケート

「あなたのお子さんは、学校での読書の取り組みによって、積極的に読書をするようになったと思いますか。」

保護者アンケート	評定	評価値	肯定率	前年比
R4年度7月	B	2.74	54	
R5年度7月	C	2.43	42	-12
12月	C	2.50	49	
R6年度7月	C	2.54	50	+8
12月	C	2.40	47	-2

このように、読書活動に対する生徒の回答結果に比べて、保護者の回答結果が大きく下回っています。学校では朝の10分間読書・全校一斉読書・読書月間などの他、家読（うちどく）の推進、学級文庫の設置、ビブリオバトルの実施など様々な読書活動に取り組み、生徒が本に親しんでいる様子が感じられます。また新校舎となり、使いやすくなった図書館の活用状況も良好だと思ひます。しかし保護者の皆様がその実感をもたれない理由について、家庭におけるスマホの利用時間も原因ではないかと考えました。実際に、3年生が4月に実施した全国学力学習状況調査・質問紙調査における「普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか。」の質問に対して、「2時間以上」と答えた生徒はなんと54.6%（県平均とほぼ同じ）にのぼり、「4時間以上」も18.2%（県平均より高い）という結果になっています。（現在の3年生は受験に向けて全力で取り組んでいるところで、この状況ではないと思ひますが。）



第11回贈りたい本大賞
金田一秀穂館長賞 身延中

本校には「身延中スタンダード」があります。これは生徒の皆さん・先生方・保護者や地域の方の心が一つになるように、そして「チーム身延中」として学校を発展させていけるように、などの願いが込められて決められたものです。その中の「家庭生活スタンダード」に、「5 スマホ・携帯は、必要な場合以外は22時以降使わない。（電源を切るか、家の人に預ける。）」の項があります。実際にはなかなか難しい面もあると思ひますが、ここで改めてこの項目の意味を考え、家庭におけるスマホの使い方を改善するきっかけにしたいと思ひます。そうすることで家庭での生活の充実や、学校で取り組んでいる読書活動のさらなる広がりにも繋がるのではないかとと思ひます。ぜひ、保護者の皆様にもご協力いただき、スマホ・携帯の使い方を考える時間を作っていただきたいと思ひます。学校ではこれまでもSNSの使い方等について指導しているところですが、「(1)「家庭学習の定着」の充実」にも絡め、今後は家庭学習のやり方についても向上できるように取り組んでいきたいと思ひています。年度末には学年PTA総会もありますので、その機会の一つの話題として、保護者の皆様のご意見もいただきたいと思ひています。

また、「3学期・来年度に向けた重点」にあげた他の項目（「道徳」の計画的な授業実践、思考力・判断力・表現力を高める授業実践等）は、私たち教職員に求められる内容として研修を深めたり、校内での研究を重ねるなどして、改善・実践していきたいと思ひています。この点についても、ご意見がありましたらお寄せください。